

(別紙様式)

## 令和3年度 ICT活用実践研究 実績報告書

所属校園	附属旭川小学校		形態	<input type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 団体・グループ
研究代表者 (申請者)	氏名		職名	備考(分担等)
	菊池 勇希		教諭	
研究分担者 (団体・グループの場合)	秋山 玲奈, 西條 俊介 盛永 枝里, 三村 仁 菊田 康平, 成田 翔 田中 里彩		教諭	
研究題目	クラウドサービスの活用による, 校務のデジタル・トランスフォーメーション(DX)			
経費支出内訳				
事項	単価 [円]	員数	金額 [円] (消費税込)	備考 (内訳・特記事項等)
〔消耗品費〕	6,500	3	19,500	ワイヤレスバーコードスキャナー
	2,310	4	9,240	エプソン YAD-BK
	1,230	2	2,460	エプソン HAR-C
	1,230	2	2,460	エプソン HAR-M
	1,230	2	2,460	エプソン HAR-Y
				-1,120
合計			35,000	

## ～研究実績の概要、得られた成果・効果等～

### 【研究概要】

本校では、校務の効率化を図るために、これまでも校務のデジタル化を推進してきた。特に、クラウド型の校務支援システムの導入は、通知表や指導要録の作成に要する時間を大幅に削減し、業務が煩雑になる年度切替の時期における時間の使い方を改善することができた。

これまでの取組に加え、大学が導入したクラウド型のサービスやGIGAスクール構想に関連して本校が新たに導入したクラウド型のサービスを利用することにより、多様化・複雑化する校務の更なる改善を目指している。こうした取組は、政府が推進する「デジタル・トランスフォーメーション」の学校版そのものであると考える。

### 【研究目的】

多様化・複雑化する学校現場における課題は、学校教育の大部分を占める授業準備や児童・生徒と向き合う時間を生み出すことである。この課題を解決するために、GIGAスクール構想の実現に向けて整備された教育ICT環境を生かしつつ、様々な目的で導入した各種クラウド型サービスを適切に活用することにより、多様化・複雑化する校務の更なる改善を目指す。

### 【研究方法】

本研究では、様々な目的で導入した各種クラウド型サービスを適切に活用することにより、多様化・複雑化する校務の更なる改善を目指している。

1つ目は、大学が導入した「Microsoft Office 365」を活用した校務の改善である。本校では、これまでも大学がライセンス契約しているMicrosoft Officeの最新版を常に使用してきた。従来と大きく異なる点は、クラウド型のアプリケーションを利用できる点である。このサービスを活用し、校内ポータルサイトの作成することにより、各種文書の作成や管理の効率化、職員会議や校内研修の在り方の改善を図っている。

2つ目は、GIGAスクール構想に関連して導入した「Google Workspace for Educaiton」を活用した校務の改善である。本校では3年生から6年生までの4学年がChromebookを使用している関係上、Googleアカウントを取得し、利用している。このアカウントを授業以外でも活用することの1つとして、これまで実施してきた保護者懇談のオンライン化や、その懇談日程の調整を行っている。

3つ目は、教育実習業務の効率化である。教育実習校である本校は、各学級2名（主免）ないし3～5名（副免）受け入れており、限られた時間でいかに充実した指導をするかが課題であった。昨年度は、本校が唯一所有していたGoogleアカウントを利用し、学生に配付されているGoogleアカウントと連携させて実習記録の電子化を試みた。今年度は、大学が導入した「Microsoft Office 365」を活用し、実習記録の電子化及び配布資料の電子化等を進めた。さらに、公立学校でも利用できるように周知したり、次年度に向けて大学の教育実習委員会と連携して改善を進めたりしている。

### 【研究の内容】

#### 1 ICTを活用した業務改善の基本的な考え方

ICTを活用した業務改善においては、業務の効率化のためにICTを活用することで、これまでよりも効率的に業務を推進することができるような場面において、全てを一度に改善しようとするのではなく、できることから取り組むことを基本とした。

その際、ICTを活用することは、業務を効率化するための手段として活用することに留意した。

#### ICTの活用に関する基本的な考え方

##### 【基本的な考え方】

- ・ICTは学校教育の基盤的なツール
- ・これまでの実践とICTを最適に組み合わせる

##### Society5.0時代にふさわしい学校の実現

- ・学校教育の様々な課題の解決につなげる
- ・PDCAサイクルで効果検証・分析の実施
- ・ICT活用を目的化しないように留意

中央教育審議会（2021）「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して（答申）」を基に作成

## 2 「Microsoft Office 365」を活用した校務の改善

「Microsoft Office 365」のパッケージングソフトの1つである「SharePoint」を使用し、「校内ポータルサイト」を作成した。このポータルサイトは、情報共有機能、情報検索機能、協働編集機能等を有しており、職員間の情報共有等を図る上で効果的に活用することができる。

本校では、「校内ポータルサイト」に次のような機能をもたせている。

- ①学校日誌に代わる連絡サイトとしての機能
- ②職員会議や在宅勤務、教育実習等の際のファイル共有機能

### ①学校日誌に代わる連絡サイトとしての機能

- ・他教員に連絡したい事項をいつでも記入し情報共有できる。ファイルの添付やリンクの貼り付けもできる。
- ・行事や会議の予定を入力できる。
- ・来校者や職員の動向も入力できる。

### 校内ポータルサイトの活用①

**クラウドを活用した校内ポータルサイトの活用**

↓

**情報共有  
情報検索  
協働編集**

従来の校務支援システム  
校内に閉じたシステム  
↓  
クラウド活用による広がり  
教室でも研修先でも  
在宅勤務でも活用できる

### 校内ポータルサイトの活用②

名前	更新日時	更新者
00 職員会議資料	3月30日	菊池 勇希
01 遊程表	4月5日	小野 義幸
03 行事	4月9日	小野 義幸
04 PC等関係	4月15日	小野 義幸
05 12人組集會	7月21日	林 祐輔
06 120周年行事について	10月4日	成田 翔

### ②ファイル共有機能

- ・職員会議のペーパーレス化ができ、必要であれば、その場で協働編集することができる。
- ・データがクラウド上にあるため、データ紛失等の危険が少なく、個人情報等を含まないファイルを比較的安全に共有できる。
- ・教育実習の日誌をデジタル化することで、学生と指導教員が日誌作成・指導の時間を短縮できる。

### <成果>

- ・学校日誌の機能のデジタル化
- ・過去の学校日誌の情報等への簡易なアクセス
- ・場所、時間を問わずに必要な情報にアクセス
- ・協働編集やリンクの活用による作業の効率化

### <課題>

- ・データ保管場所の煩雑化
- ・セキュリティの担保

### 校内ポータルサイトの活用③

仕事内容によってサイト内での編集・表示権限を分けることができる

実際に「校内ポータルサイト」を見てみましょう。

### 3 「Google Workspace for Educaiton」を活用した校務の改善

本校では、全ての児童と教員にGoogleアカウントを付与している。このアカウントを有効に活用するため、「Google Workspace for Educaiton」の機能の1つである「Googleフォーム」を活用し、保護者懇談会の日程調整を実施した。保護者は、児童のアカウントを使用して本フォームにアクセスし、懇談会の日程の希望日・時間を選択する。他の保護者は、予約可能な日程を一覧で見ることができると、その中から自身のスケジュールに応じた日程を選択できる。

教員は、これまで手作業でやっていた日程調整をソフトに任せることができるため、空いた時間を懇談資料の作成や授業準備等に割り振ることができた。

また、新型コロナウイルスの感染状況によっては、保護者が来校して行う授業参観の実施が困難な場合でも、GoogleMeetやZoom等を活用し、オンラインで授業参観を行うことができる。その際にも、配信する授業の閲覧方法や閲覧ページのリンク等を容易に周知することができた。

- ・懇談会以外にも各種の日程調整や保護者アンケート等を実施することができた。
- ・保護者は、児童のGoogleアカウントに紐付いた「カレンダー」から、いつでも予約した日程を確認したり、変更したりすることができるため、「先生の手を煩わせる」と遠慮することなく、気軽に日程調整が可能となった。

#### <成果>

- ・コロナ禍でも、柔軟に保護者懇談を実施できた。
- ・保護者が場所を問わずに授業参観や懇談会に参加できた。
- ・予約サイト（Googleフォーム）を活用し、予約手続きの簡易化ができた。

#### <課題>

- ・操作に慣れるまで、操作方法等のフォローが必要となる。

**オンライン保護者懇談 Ver.1①**  
**Googleフォームで希望日を調査し、教員がカレンダーにMeetを設定**

7月12日(月)の御都合が悪い時間を教えてください。  
 ご都合が悪い時間がない場合は、チェックしないで送信してください。

①13:30-13:45  
 ②13:50-14:05  
 ③14:10-14:25  
 ④14:30-14:45  
 ⑤14:50-15:05  
 ⑥15:10-15:25  
 ⑦15:30-15:45

本校で使用したフォームのフォーマットです。

文部科学省(2021)「全国の学校における働き方改革事例集」p.164を参考にした

**オンライン保護者懇談 Ver.1②**  
**Googleフォームで希望日を調査し、教員がカレンダーにMeetを設定**

文部科学省(2021)「全国の学校における働き方改革事例集」p.164を参考にした

### 【成果・効果】

上記1の研究を推進することにより、多様化・複雑化する学校現場における課題である学校教育の大部分を占める授業準備や児童・生徒と向き合う時間を生み出すことにつながった。

また、クラウド型のサービスを利用することにより、システムの更新が容易であることから、業務の実態に応じて常に使いやすいものに柔軟に改善することができた。

教育実習については、本学はもとより、各自治体の多くの学校に依頼していることから、本校の取組を基に、大学全体の取組としていくことにより、手作業で時間の掛かっていた業務に掛ける時間を短縮し、その時間を学生の指導力向上や、教員の魅力の発見等の時間に割り振ることができ、更なる質の高い教育実習の実現につながった。